

会議の名称	平成18年第2回 鳥海地域協議会
開催日時	平成18年7月27日(木) 午後3時
開催場所	由利本荘市 紫水館 総合研修室
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	(次葉 取消線の者)
(会議次第) 1. あいさつ 鳥海地域協議会会長 鳥海地域自治区長 鳥海総合支所長 2. 協議事項 ①前回課題事項について ア. 鳥海地域総合ミュージアムについて イ. その他 1) ふるさと鳥海の会との連携事業について ・ ふるさとツアーへの参加・交流会の参加について ・ 会設立 20 周年記念事業に対する地域希望について ②建設課関係連絡事項について ③その他	
会議の経過	別紙のとおり

◆出席者名簿

(委員30名)

[illegible]

(会議の経過)	
第2回 鳥海地域協議会	
平成18年7月27日(木) 午後3時 開会	
	(開会) (資料確認・説明)
村上振興課長	「ただ今より、平成18年度第2回鳥海地域協議会を開会いたします。 はじめに、松田 鳥海地域協議会長よりご挨拶申し上げます。」
会長	「皆さん今日のご参会いただきましてありがとうございます。今日は鳥海中 が2時半からこまちスタジアムで秋田西中と対戦しており、それに行かれた方、 或いはそれに行かないでこの会に来てくださった方もいらっしゃると思います。 情報につきましては、この会場に入ってくる事になっております。最近非常に 雨が続きまして、久しぶりの晴天で農作業も忙しい中、ご出席に対しましては 心からお礼申し上げます。先日、24日の新聞ですけれども、全国首長アンケ ートというのが魁で出されましたが、自治体存続不安が91%と大変先行きが 不安です。小泉改革は必ずしもよくなかったというように否定される方が多い という事で、世の中どんどん変わってきております。そういった中で、この地 域協議会が重要な意味を持つ訳でございますが、本日も2・3案件がございま すが、みなさまから忌憚のないご意見をいただきながら進めてまいりたいと思 いますのでよろしくお願いします。」
村上振興課長	「佐藤 鳥海地域自治区長よりご挨拶申し上げます。」
佐藤区長	「今日は久しぶりの晴れという事でお忙しかった事と思いますが、18年度第 2回鳥海地域協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。今年の梅 雨は非常に雨が多く、気温が低いという事から、作物の生育の遅れや日照不足 などが懸念されておりますけれども、新聞やテレビ等で報じられております九 州や長野のような雨による大きな災害・被害を受ける事がなくてよかったな あと思っているところであります。今日は、前回協議していただきました中で継 続的なものが何件かありまして、それを中心に進めていただきたいと考えてお ります。先ほど会長からもお話しがありましたが、本日は全県中学校野球が行 われているという事で、気持ち的には、そちらの応援もしながら協議を進めて いただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。」
村上振興課長	「続いて、鷹島鳥海総合支所長より、ご挨拶を申し上げます。」
鷹島総合支所長	「本日はお忙しいところお集まりいただきまして、本当にありがとうございます ました。私の方は、今日は最後の締めの挨拶もございますので、最初の挨拶は これくらいで終了したいと思います。今日のご審議よろしくお願い申し上げます。」
村上振興課長	「続いて会議に入らせていただきますが、会議の議長は条例第9条第4項の規 定により会長が努めます。」
議長	「それでは協議についてですが、前回の課題事項の鳥海地域総合ミュージアム とふるさと鳥海の会との連携事業、これらにつきまして、この会としてどう対

	応するかという事を協議しながら、またその他に、今日は建設課長をはじめ、産業課から主席参事がいらしておりますので、現状関係を交えながら説明をお願いしたいと思います。振興課長、総合ミュージアムの事については。」
村上振興課長	「前回配付した提案書は参考資料的のものでしたけれども、読んでいただいてみなさんどういう風にお感じになったか。あの時詳しくやる時間ありませんでしたし、他から出てきた参考資料だと申し上げて見ていただいた程度でした。あの後、大きく進展している訳ではございませんが、第1回目の段階でみなさんと意見交換するような内容が整っておらず、また急な話だったと思いますので、感想などを本日教えていただいて、この次の庁内のプロジェクトに反映させていきたいと考えております。会長、内容について若干説明させていただいてよろしいでしょうか。」
議長	「どうぞ、前回の補足という事で。」
村上振興課長	(地域づくり研究懇談会の提案資料等補足説明)
議長	「今、課長さんから説明がありましたが、これを全部というのは問題があるのではないかとの意見もある訳です。夕張市の例もありますので、かなり慎重に対応しなければいけないのではないのでしょうか。これらみんなできるかという、不可能だなという感じがしますので、この中で、いかに適したもので、これであればという第三者に分かってもらえるものをまとめていく形をとらなければダメだと思う。」
A 委員	「今日の魁新聞に秋田商工会議所が戦略会議を立ち上げ、なんとか秋田を元気づけたいという事でいろんな面から検討される事、いろいろ詳しく載っておりますけれども、その中で、今、振興課長から説明があった中の項目が載っているとします。文化財とか特産物とか資源の活用で、秋田のまちおこしという案もありましたので、みんなできるかできないかは分からないけれども特産物とか新米、ここの文化伝承、例えば、三船敏郎の件も大変有効ではないかと。特産物と関連しながら、地元で収入があがるような、地元のものが売れるような事も考えられれば、雇用もあるでしょうし、農家と観光との関連産業を考えていかなければと思いますね。それから、この施設を造っていただくという事を明確に位置づけて一丸となってやらないと、ただ黙っていればどうなるのかなと。ただ計画を立てているからいいだろうという安易な気持ちでは、今の柳田市長の市政の中では不可能な状況にもなりかねないと思う訳ですので、柳田市長が合併協の協議会の中での事を忘れないうちにガッツリとしていただきたいなど。そのためには、議員さんも含めながら要望とか、或いは住民運動とか、この会を中心としながら議論をしていただければと思います。」
議長	「黙っていれば消えてしまいます、確実に。」
A 委員	「合併協の公約みたいなものですので、合併協議会の会長がいるうちに約束は約束だと、ちゃんとしていただきたいと、あらゆる運動を展開すべきではないかと思いますけど。」
佐藤区長	「そのとおりです。だから、そのためにテーマをあげて、みんなで計画を練って、アイデアを出してくださいとお願いしている訳ですので、よろしくお願いします。」

議長	「盛り上げ、強力な要望をしていかなければと思います。」
B 委員	「内容が固まらなないと要望のしようがないので、ある程度、場所と内容を決めてやらないと。鳥海はこれだけ広いと言っても、建てる場所はさまざまな事から考えればおのずと決まってくるような気はするけれども。温泉もあるし、猿倉に造るべきでないかなと。ミュージアム構想に入る前から獅子の館とかそういうものを、お客さんがいないところにあって、誰も見る人もいないという事にならないようにといろいろ考えれば、猿倉地内の温泉に近いところになるのではないか。」
C 委員	「今、このような財政難の中で、箱モノを建てるという事に対して、ものすごく一般市民の目が厳しくなっていると思います。そういった時にあえて地域にお客さんと呼んでくるための箱モノを建てようというのは、相当納税者に対する説得力がないと。私達の地域で人が集まる可能性がある場所、そこに来て帰るという点じゃなくて線と言いますか面と言いますか、そういうものを考えて、その地域でなければという個性・特性が一番肝心なところでないかなと思いますが。そういう事を考えると、ここで一番お客さんが集まるのはフォレストとか鳥海荘とかの温泉地帯、あとは直売施設、こういうものをお互い相乗効果が出るように、そういう事を考える事が基本でないかと。その結んだ線上に場所をお願いしたい。」
A 委員	「場所は最低でも 2 箇所か 3 箇所くらいに絞っておいて、その相乗効果で最終的に決めれば。」
議長	「今、A さんが言ったように、箱モノはかなり慎重に対応しなければいけない。だから理想論的なものではダメだし、お互い相乗効果があって、他にはなくてここ独特の利用価値のあるもの、また既存のもので一番入り込み客が多い所がどこかといえば鳥海荘、フォレスト、あの辺になる訳ですよ。そうすると、場所は 2 箇所・3 箇所とするよりも 1 箇所の方がいいのでは。」
A 委員	「1 箇所では、ちょっと議論はならないと思う。」
B 委員	「配置するものの内容にもよるけれどもね。」
議長	「鳥海では、この会で決めなければ、他に要望箇所を決めるところはないのでしょ？。ここで場所と内容を決めて。」
村上振興課長	「決めるのは、やっぱりこの会で。」
C 委員	「フォレストも鳥海荘も、かなり遠くから相当規模の団体客が泊まっている。観光客の誘致そのものの相乗効果が上がる事も考えられる訳です。そういう事も含めて企画していただきたいなと。例えば、最近矢島に総合案内所ができた訳ですが、朝 10 時頃にならないと開かないそうですな。開けてからも、訪れる人が 1 人もいない状態。そういう状態では…。」
D 委員	「箱モノはよっぽど考えて作らないと。補助事業というものはあまりいいものではないな。」
B 委員	「フォレストとか鳥海荘では、事前依頼があった場合、番楽とかやってますよ。」

佐藤区長	「正月とか、お客さんが多い時はやってます。こういう文化伝承館的なものを、ある程度いれとすれば、やっぱり舞台とか、猿倉人形でも櫓を持って来なくても、やる人と人形だけあれば短時間で準備してさっとやれる、そういうものがいいと思うし、同時にビクターセンターの中に鳥海山の動物とか四季とか映像で見たり、同じ所でできる訳です。そういうものを兼ね備えたものを造れば、鳥海山に登ろうかと思ったが雪で危なくて登られないとなった場合も、こういうものを見ていただいて鳥海山はこういうもので、こういう動物がいるよ、こういう植物がありますよと見ることもできるし、また文化的な伝承芸能等もいろいろできると、そういうものを含めてできればと、私はそう思うんです。」
議長	「(提案書の)すべてを網羅したものでなく、必要最小限度の箱モノでいいと思う。」
D委員	「矢島の建物ほどのくらいかかってるものですか？」
村上振興課長	「6～7千万かかっています。」
D委員	「総合発展計画の中に、温泉開発事業に2億予算があるが。」
佐藤区長	「これは、鳥海荘で温泉の水位が下がっていると専門の業者を頼んで調査してある訳ですよ。その結果を基にして、枯れないうちに別の所に掘ってもらわなければいけないと、こういう事でお願いしています。」
D委員	「そういうものによっても、また建てる場所が。」
佐藤区長	「ただ温泉を提供するところは、例えば伏見につくってそこに入れるという話ではなくて、あの地域を調査しているのだから、提供するのはもちろん今ある施設という事になります。」
議長	「今日ここでまとめなくてもいいが、場所はある程度決めてしまわないと。」
B委員	「構想そのものがかなりの量あるけれども、全部一律に考えないで、ある程度この中で順位を決めて、これとこれは何回目にやらなければいけないとか、そういう考え方も持っていかなければ。」
佐藤区長	「これは、何人かの人から出てきたものを羅列しただけだから、すでにあるものもいっぱい入っている。そういうものは省きながら。」
議長	「まず場所を特定する事、或いは中身でこれは必要ない、これとこれはまとめた方がいいというように、すっきりしたものにするとすれば、ある程度時間も必要だと思います。」
B委員	「すっきりしない事には、事業に計画として組み入れられないだろう。」
議長	「スケジュールはどういう方向がいいでしょう。例えば部会なんかを作って、そこで検討してもらおうという方法もあるでしょうし。」
佐藤区長	「あまり悠長な事も言ってもらえない。市の観光振興計画がまとまる前に、こっちからこういう意見があったよとこっちの結論は出しておかないと。」

E 委員	「ホテルまさかで番楽を上演した折、隣の部屋の人達が覗いてくれて、涙を流して喜んでくれた。それから交流が始まった。特別、別に建物（植物園）を建てなくても施設と一体となった方向がいいのではないかな。この前鳥海荘に泊まったお客さんですけれども、ビックリしたのが、蛙捕まえてお土産に持って行くというのです。そういう時代だし、自然が好きで来る人も多いのだから、お金をかけて自然を集約するよりも、鳥海は自然がそこにあるのだから。」
D 委員	「やるとすれば、新しくお金をかけてやる必要はないのではないかな。ビクターセンターなんてのは役場の2階を改造したらできるのではないかな。」
議長	「既存施設の見直しとして、そこにおさめるものはおさめると。」
鷹島総合支所長	「この構想ごとに一つ一つの建物を考えていくと、体験学習的なものもふくめて伝承館みたいなものは、今までのご意見でいけば必ずほしいという事だから、この中で伝承館にプラスしてこの部分から何かの部分にくっつけていくというような事を考えれば、新しい建物を一つ一つ考えなくてもいいという発想もしておかないと、維持管理だけのお金がかかってしょうがないという事になりますから。」
A 委員	「行政だけではなんともならない。民間がやる気にならなければなんともならないというのもあります。」
B 委員	「役場職員何人かと一般から何人というきちっとした形で煮詰めていって、原案できたら、またこの会にかけていいか悪いかという話をしてもらった方がいいのではないかな。なるべく早くしないと、いつまで経っても市の予算獲得できないと思う。」
佐藤区長	「市で計画を立てているから、その計画の中に、ある程度我々の構想も入れてもらえるような形で進めていかないと。そっちはそっち、こっちはこっちではないのだから。」
C 委員	「基本的なことはここで決めたらどうか。」
議長	「場所の問題とか、これを重視すべきだという大きいものはここで出して、それを更にまとめてもらう。まあ場所的には猿倉地域という事でいいですか？」
F 委員	「道の駅はどうでしょう？市以外のお客さんも入ってくるし。」
議長	「一般の通過する人と観光として来る人とある訳ですな。道の駅は通過する人、温泉は観光する人。その辺りも使い分けが必要だと思います。例えば、笹子の道の駅にも鳥海山の事、或いは猿倉の事を展示して、フォレストや鳥海荘に来てくれという誘導は出来るわけです。観光案内所的には。」
佐藤区長	「フォレストでも鳥海荘でも、夏の間はこの辺の人も土日はほぼ満杯になるくらい人が来てくれるんだけど、冬になって雪が降るとパタッと来ない。もちろん人気があるところはあるんだけど、冬になるとなんにも見るものがないという形になっていくものだから、やっぱりまんべんなく施設を利用してもらう為には、冬期間も見れるものとか遊べるもの、そういうものがある程度ないと人を呼べない。そういう点では、私としてはあの地域の辺りがいいのか

	なと思っています。」
C委員	「ホテルの誘客する時に、施設で今晚はこういう催しがあるからチケットを買ってもらうとか、そういう誘客の仕方もある訳ですよ。そうすれば、お互いにメリットがでてる。そういうのがあれば、昔行ったけれども、また行ってみようかという人も出てくるだろうし。」
議長	「佐渡のおけさ会館のような使い方。やっぱり、場所的には猿倉じゃないかなというのが大半の意見だと思いますが、そういう事でよろしいですか？あとは、必ずしもそこに全部つめるのではなくて既存の施設も有効に使って。もう一つは、今は食文化の時代ですので、それぞれその地域のお土産は特別なものでなければならないということで、直売所では行っていますが、直売所で売るとお土産として売るのはちょっと違うのではないかと。お客さんが来るのは建物だけでなくお土産もという事です。あとは、今の時代に認めてもらえるような箱モノの範囲内でとどめるべきだと。更に既存の施設に対して、これをあてはめるものも出てくると。場所的な事、内容的な事を、あとで私と副会長と協議して大体メンバーを決めて、別日程で相談して、それを後日みなさんに提案を示すという形で一任させてもらってよろしいでしょうか。10人くらいで1～2回集まって、内容もある程度までは詰めて、それをみなさんにお諮らいます。この事については、事務局或いは区長、総合支所長さんと相談しながら、あとで推薦して、役場のみなさん含めて、観光関係も含めてメンバーを決めてという事で。」
C委員	「いいと思います。」
議長	「それでは、次に進めてよろしいでしょうか。ふるさと鳥海の関係のふるさとツアーと20周年記念事業についてですが。」
振興課	「この事につきましては、8月15日にふるさとツアーがありまして、まわる場所は、矢島の総合案内所・本荘公園・天鷲郷・大内の千体地藏・赤田の大仏となっております。その後4時半から「ももや」で交流会を2時間ほどやった後に、笹子の道の駅まではお送りいたします。みなさまにご協力いただけるのであれば、都合をつけて1日参加していただける方、夕方から参加していただける方をお聞きしたいと思いますので、よろしくお願いします。」
議長	「会費は4千円となっておりますね。夕方から参加しても4千円？」
振興課 佐藤主席参事	「はい。夕方のほうがお金がかかるもので…」
議長	「これはいつまででしょうか。」
振興課 佐藤主席参事	「この場で分かる方につきましては、今日お聞きします。ふるさと鳥海の会の会員のみなさまには、8月4日までという事で出欠を取りまとめておりますが、現在のところ例年参加していただいている方以外の新規の参加が少ないようですので、向こうから20人くらい、こちらが全員参加していただくと30人という事で、バスの定員ちょうどという事になりますので、よろしくお願いします。」
議長	「という事で、ただ今募集中なようです。最終的には、8月4日まで振興課に

	連絡をどうぞよろしくお願いします。20周年事業については、またこの後でも？」
振興課 佐藤主席参事	「前回提案しておりますので、今日どなたか案をお持ちであれば伺いたいと思いますが。8月15日にお話ししていただいても結構です。」
議長	「15日に、20周年の事について意見交換する時間もある訳だな。それでは、ふるさと鳥海の会20周年という事でご意見がありましたら、8月15日に交流の機会に参加して話し合いをしたいという事であります。 それでは、協議事項2の建設課関係の連絡事項にうつりたいと思います。」
佐藤建設課長	「大変みなさんにご迷惑をおかけしております、県道「大川端・伏見線」についてですが、県事業により、通行止め解除のため、7月末から排土工・仮設防護柵等が実施される事となり、8月末の解除を目標に鋭意、工事を進めるとの連絡が入りました。この事につきましては、市のホームページ・広報にも掲載しておりますし、また各世帯にはパンフレットを配布する予定となっております。それから、市道「百宅線」、これは法体の滝に通じる道路でありますけれども、今年5月1日の雪崩発生により通行止めの措置を執っております。専門の業者により調査を行ったところ、大きいものと2メートルから3メートルの大きい石が上部にゴロゴロあるという関係で、なかなか通行止めを解除できないというような状態です。いろいろな事情から、今年の解除は難しいという事です。もみじ祭りに向けて、早期に通行解除に向けた予算をつけたいと思いますので、よろしくお願いいたします。この事につきましても、ホームページや広報で、地域のみなさまにはお知らせいたします。」
	(その他の建設課関係の内容について説明)
C委員	「国道から貝沢のところですがけれども、非常に危険な状態で、バスも通ってますけれど、大型と対向してすれ違えるような状態じゃないのです。それから、地すべりが起こったのは連休でしょう？3ヶ月経過していて、今になって工事にかかるという、その間何をしていたんだと我々は分からない訳なんです。災害復旧で非常に緊急を要するものに、工事にかかるまで3ヶ月というのは…」
産業課	「今の件につきまして、県道の「大川端・伏見線」ですがけれども、ここは地すべり指定区域ですので、一般的な災害復旧工事と違って、調査があつて、その結果をもとにしてという事で、それが終わらないとなかなか工事を進められなかったようです。振興局でも、矢島で事故があったという前例があったものですから、非常に敏感に考えていたという事を併せまして、県の方にも本庁の方から出席しまして、地域的な予算措置もして、普通であればこういう工事は時間がかかるのですが、いち早く動いたという事は、地元の人全員が一丸となって、市長もお願いに行った経緯があるものですから、ここまで進んだという事です。建設課長がお話ししましたとおり、県の方で8月末を目処に進めており、住民のみなさんはこういう内容ですとのチラシが出ますけれども、こういう事業が進むのも、やはり住民一人一人の声が届く事によってだと思えます。もう一つは集落営農。産業課でいろいろJAさんの協力で鳥海地域一巡しまして、今、2巡目、3巡目に入っております。今のところ、手をあげて動きそうなのが10を超えるような感じです。お盆過ぎには、バタバタとあがるんではないかと期待をしていますし、皆さんにもひとつご協力いただければと思っています。以上、よろしくお願いします。」

佐藤建設課長	「もう一点、私の方から補足させていただきます。今年の豪雪によって、この春、ガードレールが大幅に壊れております。ガードレールの復旧を26箇所ほど、今回の査定を通して、額にして3千2百万ほどの予算をみております。舗装のひびわれにつきましては、私の方で今回39箇所を予定しておりますけれども、7月31日から8月4日までという事です。今回は日程的な問題で10箇所ほどしかできないというような事です。ほかにも、舗装・修理が必要だということがあったかと思いますが、なるべく災害的なものとして市のほうに負担がないようにという事で、大変みなさんにはご不便をおかけしますけれども。ただ今年度に全部は無理だと思えます。財政事情が厳しいという事から、なるべく災害適用での事業を展開したいというような事で頑張っておりますので、みなさんにもご理解をいただきたいと思っております。」
C委員	「今の、産業課の説明を聞けば私たちは分かるんですけど、こういう程度の住民への説明では分かりにくいところあると思うんですよ。今、発言されたような内容をかみくだいて住民に知らせていただければと思います。」
議長	「貝沢線（市道伏見オノ神線）の狭いところでも、交通事故がないように呼びかけていただきたいと。」
佐藤区長	「通行止めにしてすぐ調査を発注して、状況を調査して、その結果どういう工法でやるかという事を専門家が行ってやる。我々としてみれば、すごく早く県が動いて対応してもらって、よかったなと感じている。」
D委員	「あそこは何回も崩れているから、データはうんとあるはずですよ。だからオクズレって名前付けてるんですよ。」
佐藤区長	「データ（の存否）は分からないけれども、念には念を入れて調査してるんだよな。」
C委員	「あと、市道貝沢線（市道伏見オノ神線）は抜本的に部落工事してもらわねきゃいけない。」
D委員	「発展計画の中に芦ヶ渚橋の事は載っているけれど、大栗沢橋は載っていないんだなあ。栗沢の人達は要望しないんだなあ。」
議長	「この前（108号から大栗沢への交差点付近）ガードレールが視界を遮るから、なんとかできないかというのはどうになりました？」
佐藤建設課長	「その件につきましては管理するのが県という事で、県には駐在さんの方から交通の関係で警察から言ってるんだそうです。これは確かにやる予定は立ててはいるんですが、ただでできるものでないので、予算の関係からもう少し待ってもらいたいとの事です。」
議長	「私も行って見て、危ないなと感じました。あと、何かありましたら。」
C委員	「今、田舎でも考えられないような凶悪事件が発生してますけれども、いわゆる防犯対策のようなものは進んでいるんですか？」
鷹島総合支所長	「対策としては、みなさんご承知のとおり秋田県でも追加補正で4千何百万か

	補正しておりますし、防犯体制を整えるという意味では特別に予算をつけたというのが。ああいう形のものというのは、いつどこで発生するかというのは分からないので、予防といっても常にああいう体制で防犯体制をしいておるのかという非常に難しい面があって。一番効果があるのは、やっぱり地域住民が子供さんに興味を持って見ていただくというのが一番だと思います。事件が起きたから、どうこうするというのではなくて。由利本荘市でも教育委員会が中心となって防犯対策してますが、地域の方々から協力していただかないと、なんともしようがないという部分が大部分であります。みなさんは、自分の子供さんは学校を卒業したかもしれませんが、そういった関係に関心を持っていただくという事を十分にお気を付けいただければ大変ありがたいと思っております。そこら辺のところよろしく願いいたします。」
C 委員	「鳥海でも、私がPTAしてた頃なので10年近く前になりますが、笹子地区の小学生の女の子が車にひっぱりこまれそうになったというような話があって、その時に関係者が集まって話した時に、一番ポイントになったのが街路灯です。そういう事をする人は、車のナンバーが見える明るさがある所ではなかなかやれないので、やっぱり車のナンバーが見えないところで、そういう事件が発生する。これからの季節がある意味一番そういう事が起きやすい。行政が街路灯の点検まわりとかやって気をつけていただきたい。街灯の申請とかあると思いますけど、ここはちょっと危ないとか、そういう点検とかやってますか？」
佐藤建設課長	「街路灯は千を超えております。台帳を付けておりますので、何番だという事で、修繕につきましては今年度から市でもっている予算ですので、緊急を要するものには早急に対応するという事で。ただ、新たに設置というのは、額的にも結構かかるので、すぐにはできないという事をご理解いただきたい。」
議長	「それでは、その他にうつりますが。」
A 委員	「この間消防大会がありまして、協議会委員という事で招待いただいたんですけども、ほとんど地域協議会というのは市民の方は知らない。何をやっているのかと質問を受けた。できれば、広報なりで地域住民に名前と内容と役目くらいは教えていただければ非常に助かります。」
振興課	「地域振興事業の審査会の結果についてですが、今年の地域振興事業は8箇所から申請がありましたが、承認されたのは1箇所だけでした。8箇所の審査をしておりました時点で、要項に不備があったのではないかとという事で、明日新しい要項が示されるとの事です。承認されましたところは、事業名が矢島茶会、申請者が生駒顕彰会佐藤清圓、事業概要といたしましては、遠州茶道の流祖小堀遠州と生駒家3代正俊公はそれぞれ正室が戦国大名藤堂高虎の姫であったことから、400年に及ぶ縁戚の絆をふかめられるよう茶会や琵琶演奏会を開催するとの事です。交付決定額が25万。却下された7箇所は、事業内容から、従前どおり自主開催すべき事業であり、審査会で全市に広がりを見せるような事業の要望をたてなさいと地域政策課から、それも明日示されると思いますので、それが示されましたらまた資料を配付します。」
議長	「他になければ、第3回目の日程について。それからミュージアムの参考になる施設を見に行こうという話が前回の話し合いでありましたが。それでは、議会の日程は9月の初旬の議会前ということで。それまでにはミュージアムもまとまるように提案するし、ミュージアムの類似施設で視察する場所も目処を付けて、みなさんにお諮らいますと。」

佐藤建設課長	「最後をお願いなのですが、今日この会場で6時から鳥海ダムの公開講座が開かれますので、お忙しいと思いますがご参加をお願いいたします。」
議長	「今日は以上で終わりたいと思います。議事の進行にご協力を賜り、ありがとうございました。」
村上振興課長	「総合支所長より、締めあいさつを申し上げます。」
鷹島総合支所長	「大変長時間にわたりご協議いただき、誠にありがとうございました。今日いただきましたみなさんからのご意見等につきましては、またこの協議会を進めるうえで生かしてまいりたいと思います。先ほども、委員の方から個性という言葉が出ました。やはり合併になって各地域の個性を出しながら、これを主張しながらやっていかないとなかなかその地域が発展しないという風に思います。したがって、今後の鳥海地域の個性というものを大事にしながら、この協議会を核として、また様々な面で主張していただきたいというふうに思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げたいと思います。どうもありがとうございました。」
村上振興課長	「長時間に亘り、大変ご苦労さまでした。第3回地域協議会は、9月初旬頃を予定させていただきます。委員の皆様には繰り合わせの上ご出席いただきますよう、よろしくご理解とご協力をお願いします。これを持ちまして第2回鳥海地域協議会を閉じます。続いて、鳥海ダム公開講座が開催されますので、引き続きご参加をお願いいたします。」
	(閉会 午後5時30分)